

※一部非公開

令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース  
学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

一般推薦

共通問題

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

**非公開**

## 非公開

図1 ドネルケバブ. gato/PIXTA

(今井むつみ, 『学びとは何かー＜探究人＞になるためにー』, 岩波書店, 2016年, 147, 204-206ページ, 抜粋・一部改変)

- 問1 筆者の言うドネルケバブ・エピステモロジーとはどのようなことを意味しますか。400字以上, 600字以内で答えなさい。
- 問2 探究エピステモロジーを失わないような教育について, あなたはどのように考えますか。小学校における具体的な授業場面を想定して600字以上, 800字以内で答えなさい。

# 令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

一般推薦

### 出題の意図

本出題文は、学校教育において、当たり前に行われている、ことばによる教育が孕む効率性に焦点を当て、知識観と学習観を問い直している。母語習得を例に挙げ、自ら知識を発見するという探究する学びと、ドネルケバブのアナロジーを用い、学校教育のなかで、教えられた知識を受動的に覚える学びとを対比的に論じている。学校教育において、ことばで「教える」「教えられる」という関係を取り結ぶ以上、こういった「効率性の背後にある危うさ」もまた不可避であることを、教師を目指す者として理解することが求められているだろう。

問1は、本文中の登場する「ドネルケバブ・エピステモロジー」という概念を理解しているかを問う設問である。出題文を正確に読解し内容を理解した上で、簡潔かつ論理的に表現する力があるかを確認したい。

問2は、教師を目指す者として、「知識をたくさん覚える」という学びに陥ることなく、探究的な学びを構成する際に求められる、柔軟な発想力と論理的な思考力を問いたい。

本問題の趣旨は、教育学部学校教育教員養成課程アドミッションポリシーの「教員として主体性を持ち、子どもおよび社会と関わっていきたい人」「教育の理念と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身に付け、思考力、判断力、表現力を持つ人」に該当する。